

礼拝プログラム

2016年10月2日

司会: 倉野兄、奏楽: 西井姉 通訳: 細松兄

前奏 Prelude

賛美 Hymn

使徒信条 * Apostle's Creed

牧会祈祷 Pastoral Prayer

感謝献金 Offering

メッセージ Sermon

『キリストの最後の七つのお言葉』 大川道雄師
“The Last Seven words of Jesus Christ”

賛美 Hymn

頌栄 Doxology

祝祷 * Benediction

*印箇所は起立ですが、起立が困難な方は着席のままです。礼拝メッセージは英語に訳されます。必要な機器を会堂入口にてお求めください。Please feel free to remain seated or sit down when the congregation is asked to stand. The sermon will be translated from Japanese to English. You can pick up a translator device at the entrance of sanctuary.

アッシャー: スコット姉、ワトソン姉、

グリーター: 井口姉、スタンクリフ姉

ナーサリー: 町田姉、ホッグ姉

チルドレンチャーチ: 大野姉、桜子姉、奏姉

来週、9日の礼拝

司会: 西井兄 奏楽: 大倉姉 通訳: ラスカリス姉

メッセージ: 「未解決の問題が与える影響」

賛美: LP185、新聖歌258

アッシャー: ホッグ姉、イノサント姉

グリーター: 石井姉、ハインズ姉

ナーサリー: スタンクリフ姉、テリケス姉

チルドレンチャーチ: クロセッティ姉、アリエル兄、奏姉

おしらせ

本日の礼拝後の予定

コーヒアワー、バイブルスタディー(大川師)、
カレーランチ、ゴスペルフラ・アウトリーチ

■今日の礼拝によろこそいらっしやいました。心より歓迎します。また続けてお越してください。今日はカレーランチの後、午後1時30分よりゴスペルフラ・アウトリーチミニストリーがあります。

■本日の大川先生の礼拝メッセージ、バイブルスタディーのお導きを感謝します。

■大倉師は先週一週間、神戸でもたれた日本伝道会議に出席し、現在、埼玉の家族を訪問中で、今週、木曜日に帰国します。よって今週の水曜集会、木曜集会はおやすみとなります。牧師は金曜日からオフィスに復帰します。

■10月16日、婦人会と男子会の代わりに NCM2のミニコンサートがもたれます。熊本震災へのラブオフアリングが捧げられます。

■10月22日(土)、10am から14:30pm までウエストコピナ教会にて南カリフォルニアのギャザリングとして「EMPOWER」がもたれます。日本語のワークショップとして「礼拝と賛美」、「聖書的一致・和」、「高齢者伝道」、「子供伝道」があります。参加を希望される方はこちらからレジストレーションを済ませてください。
www.empower2016.org

■12月26日(月)ー1月1日(日)まで「Rise & Go: イエスの勝利の御名によって」というテーマで Murrietaにて Equipper Conference がもたれます。9月30日までに申し込みますと25ドルのディスカウントがつかます。
<http://equipper.org/>

今週の予定

8日(土) 白百合の会 10:30am-

9日(日) 理事会、
大倉師、午後ノースカウンティー礼拝へ

落着け

科学評論家のウィニフレッド・ガラハーによれば、私達が「退屈」という概念は、ごく最近生まれたものであって、地球上にはこの言葉が存在しない地域が多くあるといます。(彼女の定義によれば退屈とは「自分にとって興味があるものが存在しないという不快な感覚のこと」である)。私達が耐えられないほど退屈だと感じる状況は、たとえば何時間も、あるいは何日もバスが来るのを待つというようなものです。しかし、開発途上国においては、このような状況は生活の一部なのです。

人類学者のヘンリー・ハーペンディングはアフリカの奥地で調査を行いました。彼は言います「現地の人達は私達のようにではない。現地を訪問した他国人は現地の人達が退屈と思われる状況にいくらかでも適用できることに驚く。彼らは一日中、木陰に座っていても退屈することはないのだ」。彼は20年かけて現地の言葉を調べましたが、彼らの言葉に「退屈」と言う言葉を見いだすことができませんでした。そもそも、英語の『退屈』(boredom)という言葉には関連した派生語はなく、そもそもこの言葉は単独の言葉として造られた造語であり、この言葉が英語に登場するのは18世紀後半になってからだそうです。

退屈な心を埋めるために余暇の時間に楽しむことができる多くのエンターテイメントに囲まれている場所であればあるほど、退屈を感じるということはどういうことなのでしょう。この不思議はあのソロモンの言葉につながっているように思うのは私だけでしょうか。

『「さあ、快樂をもって、おまえを試みよう。おまえは愉快に過ごすがいい」と。しかし、これもまた空であった』(伝道の書2章1節)

『わたしは一つの事を主に願った、わたしはそれを求める。わたしの生きるかぎり、主の家に住んで、主のうるわしきを見、その宮で尋ねきわめることを。(詩篇27篇4節)。

私達の退屈を埋めることができるのも神のみがなせるみわざなのです。